

総合診療科（基幹施設：恵寿ローレルクリニック、連携施設：恵寿総合病院）

連携基幹病院数	7 施設	
連携基幹病院名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立穴水総合病院 ・ 金沢大学附属病院 ・ 金沢医科大学病院 ・ 石川県立中央病院 ・ 公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院 ・ 新潟県厚生農業協同組合連合会上越総合病院 ・ 市立敦賀病院 	
指導医 計：3名 ◎指導責任者	氏名	専門
	◎吉岡 哲也	家庭医療
	新井 隆成	周産期・婦人科・女性診療
	高藤 早苗	緩和医療
指導責任者紹介	吉岡 哲也 米国家庭医療学専門医 米国老年医学専門医 米国ミシガン州医師免許 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定医、指導医 ALSO 特別指導教官	
専門医、認定医	3名（日本プライマリ・ケア連合学会認定医）	
病床・患者数	病床数 約 20 床 年間新外来患者数 約 1,000 名（2015 年度） 1 日平均外来患者数 42.9 名（2015 年度） 月平均延べ患者数 842.9 名 12 歳以下比率 5.4%、75 歳以上比率 32.4% 妊産婦患者数 240 名/年	
研修の特徴	<p>◎プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特長</p> 基幹病院となる恵寿ローレルクリニックは恵寿総合病院を中心としたけいじゅヘルスケアシステムに属し、能登半島の中央部で奥能登も含めた地域医療の中心的役割を果たしています。診療所およびさまざまな介護・福祉施設をグループ内に保有しており、高度先進医療を含む外来・入院診療で終わることなく、退院後もシームレスな施設間連携により地域に密着した包括的な医療を提供しています。これにより広い診療領域にわたる病態のすべての病期について研修することが可能となっています。 <p>◎プログラムの理念、全体的な研修目標</p> 当プログラムは全人的医療が提供できることはもちろんのこと、新生児や妊婦のケアなどあらゆるプライマリ・ケアのニーズに対応できる医師になることを研修医の目標とします。当プログラムは産婦人科医や小児科医が足りない地域でも安心して家族が暮らせる医療環境の整備に寄与したいと考えています。	
臨床研修の内容	<p>◎三年間を通じて行われる勉強会・カンファレンス等の教育機会</p> 主として、外来・在宅・病棟の3つの場面でカンファレンスを活発に開催します。 <p>(ア)外来医療</p> 幅広い症例を経験し、症例カンファレンスを通じた臨床推論や総合診療の専門的アプロ	

	<p>一子に関する議論などを通じて、総合診療への理解を深めていきます。</p> <p>(イ)在宅医療</p> <p>症例カンファレンスを通じて学びを深め、多職種と連携して提供される在宅医療に特徴的な多職種カンファレンスについても積極的に参加し、連携の方法を学びます。</p> <p>(ウ)病棟医療</p> <p>入院担当患者の症例提示と教育的フィードバックを受ける回診及び多職種を含む病棟カンファレンスを通じて診断・検査・治療・退院支援・地域連携のプロセスに関する理解を深めます。</p> <p>(エ)その他</p> <p>学会報告や臨床研究を行い、論文発表を行う。</p>
<p>単年度専攻医 受け入れ可能 人数</p>	<p>5 名</p>